

ふれあい情報

2016年 1月12日 (火) 第222号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

「画期的なこと」阿部会長が期待表明

「連合本部退職者の会」

加入!



▲阿部会長に届出書を手渡す松本代表。右は根本事務局長、左は菅井事務局長 (1月12日、退職者連合本部事務局で)

年明け早々、嬉しいニュースです。一月一二日(火)午後一時、「連合本部退職者の会」の松本惟子代表と根本良作事務局長の二人が退職者連合事務局を訪れ、松本代表が、阿部保吉会長に退職者連合への加入届けを手渡しました。届出会員数は一八名(昨年二月一日現在)です。届出には菅井義夫事務局長も同席しました。

連合本部退職者の会の加入について阿部会長は、「画期的なことであり、関係者の長年のご努力に感謝します。今後、地方連合会退職役員への加入を進め、全国組織として退職者連合の中心的な役割を担ってほしい」と謝意を述べました。

連合本部退職者の会は、連合本部を退職した役員で組織されており、専従者だけでなく構成組織からの元派遣者も参加しています。会では専門のプロジェクトチームを設置し、加入に当たつての条件整備を一年間検討してきました。その結果、本年一月五日(火)午後一時三〇分から開かれた第一三回総会で退職者連合への加入を決めたものです。

総会では、長年にわたって加入に向けた取り組みを行ってきた菅井義夫代表(退職者連合事務局長)が挨拶の中で「地方連合会役員経験者の退職者組織づくりが進んでおり、連合本部の退職者の会が退職者連合に参



松本惟子代表

加することで連帯づくりへの大切な一歩になる」と訴えました。また今後の連携については、菅井会長に代わって新しく選出された松本新代表と根本事務局長の下で退職者連合との関係を強めていくことが確認されました。なお、松本代表は元衆議院議員・元連合副事務局長(電機連合出身)、根本事務局長は元連合総務財政局長でJ P 労組出身です。

互いに支え合いたい

松本代表は「加入には結成から一三年かかりました。退職者はいつとも地域や生活の場で多くの問題を抱えています。お互いに支え合いながら歩んでいけるネットワークに加入できたことを喜んでいきます」と抱負を語りました。

連合本部退職者の会の菅井義夫前代表に聞く



全地方連合会で退職者組織立ち上げ、

「絆」づくりめざしたい

三つの課題克服し、加入にまぎつける

連合本部退職者の会は二〇〇二年に発足しました。退職者連合への加入については、当時から話はありませんが、なかなか実現しませんでした。今回加入できたことについて連合本部退職者の会の菅井義夫前代表(退職者連合事務局長・写真)に加入にあたっての課題は何だったのか、どう取り組んだのか、また退職者連合事務局長として加入を受けて今後に向けた考えなどについてインタビューしました(聞き手:編集部)。

Q. 加入にあたってはどのようなことが検討されましたか？

菅井 大きくは三つあります。一つは、連合本部退職者の会は、あくまで会員相互の親睦を目的に発足しており、運動体である退職者連合とはかなりの距離感があることです。二つ目は、退職者連合の会費負担が重荷になること。三つ目は、重複加入問題です。連合本部退職者の会の会員は、連合本部の専従役員だけでなく、構成組織からの派遣役員(途中帰任者も含む)もあり、所属組織の退職者組織と二重加入になることです。

プロジェクトで一年間検討、実結ぶ

Q. Q.のべのように検討されたのですか？

菅井 退職者の会では、プロジェクトを

立ち上げ、一年間検討しました。その結果が総会に報告され、承認されたわけです。具体的には、①親睦組織であることは踏まえた上で、退職者連合が三〇〇万組織拡大で奮闘しており、その足を引っ張るようなことは避けなければならないこと。②会費のうち、団体費三万円については、連合本部が負担してくれること。③一人二〇円の退職者連合の会費負担について二重加入になる会員を調査し、会費がダブル負担にならないように調整すること、などです。

Q. 退職者連合の組織拡大アクションプランでは、地方連合会退職役員員の組織づくりを方針化していますが、退職者連合事務局長として今後に向けた抱負を。

菅井 ぜひ現退対話をすすめ、地方連合会での退職者組織を立ち上げていただきたい。現在四つの地方連合会で退職者組織がつくられています。残り四三都道府県での組織化がすめば、退職者連合として全国レベルの地方連合会の退職者組織の「絆」づくりをめざしたいですね。

退職者連合

検索



退職者組織のホームページをぜひ、ご活用ください。